									本方針					10	11)		本方針		基本方	
			① 食 育							8	9				1)		2	農農	(1)	② 地
担当	 取組名(事業名)	内容(今年度の取組予定)	\wedge	朝 食 想	生 活 リ ズ ム	週には	エネレギー量	栄養成分表示	野菜1日3食	塩分	鮮度	味 限 _温	産地表示	食料備蓄	食生活 進 員 養	地元の特産品	郷土料理	農林漁業体験	学校給食におけ	元の用金
課			の関心	摂取	ズい ム	正体重	+ の -	表	3食	分	及	限 削 費 期	衣示	雷 蓄	員改 善	符 産品	料理	未 体 験	地に消おせ	材利
		母子健康手帳交付時の健康相談で、一日3食取ることの大切さやバラン	-0-			=	E	71,	100			741			\dashv	нн		M3/X	1)	13
	母子健康手帳交付 時の健康相談	ス食、妊娠期に大切な栄養素の摂取を啓発する。 手軽なバランス食の資料を配付し、妊娠をきっかけとして、朝食を欠食	0	0		0	\circ	0	0	0										
		していた方の行動変容を促す。 食生活アンケートをもとに個別の栄養相談を実施する。一日3食の食事	H		\vdash			_							\dashv			-		-
	出産前のパパママ セミナー1回目	やバランスの良い食習慣について啓発する。 母親の健康と胎児の発育のために、出産までに適切な体重増加の大切	0	0		0	\circ		0	0										
	すくすく広場	さ、妊娠糖尿病予防のための食生活のポイントを伝える。 離乳食の目的と全体の見通しが理解できるよう、具体的な進め方や簡便	0		0			\dashv			_			0				\dashv		_
子	2回目	な調理方法等について講話を行う。 問診時、離乳食がスムーズに進行していない場合や、母に不安感がある						_							-			\dashv		=
子育で支援課子の「おおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおお	10か月児健診時の 栄養相談	場合に勧奨し、個別相談を行う。 短時間の相談となるため、改善のポイントを簡潔にアドバイスする。	0		0	0	\circ		0	0										
) 注 援		フォローが必要な場合は、子どもの栄養相談会につなげる。 保健師が食生活も含めた集団指導を行う。													_					
課 	1歳6か月児健診における栄養指導	栄養士が食生活についての集団指導を行う。 また、肥満度15%以上の児及び食生活についての相談を希望する者等に	0	0	0	0	\circ		0	0										
		対し、栄養士が個別栄養相談を行う。 1歳6か月児健診で肥満度15%以上の児及び食生活についての相談を希望する者等に対し、栄養士が個別栄養相談を行う。	0	0	0	0	0	0	0	0					\exists			\exists		
	3歳児健診における	肥満度15%以上の児及び食生活についての相談を希望する者等に対し、	0		-	0	-		0	0					\exists			\exists		-
	5歳児健診における	栄養士が個別栄養相談を行う。 肥満度15%以上の児及び食生活についての相談を希望する者等に対し、 栄養士が個別栄養相談を行う。	0		-		-		0	0					┪			\exists		-
	すくすくネットを活	大食工が個別大食性談を行う。 妊娠期や乳幼児期の食生活に関する情報を発信する。	0	0	0	0	0	0	0	0				0						
	用した情報発信	主に年長児クラスを対象に、生活リズムや朝食の大切さ、食事バラン			H					\dashv		\dashv			\dashv			\dashv		\dashv
	 食に関する健康講 話	ス、野菜の摂取、よく噛んで食べること等について健康講話を行う。料 理カードやエプロンシアター、クイズ等を取り入れ、園児が自ら考えら		0	0				0											
	百立 -	れる内容で啓発する。各保育園では、毎月、食育の日の活動を行う。 今年度は希望園で祖父母向けの講話も実施する。																		
	 給食だより	毎月の給食だよりに献立の紹介とともに、栄養面や食事のマナー等の食	0	0	0	0		0	0	0				0	\exists		0	\exists		\dashv
	 園だより・食育だよ	育に関する記事や旬の食材、郷土料理を紹介する。 各保育園で発行する保育園だよりに、園児の肥満予防や食習慣について			0	0		\dashv							┪			\exists		\dashv
	[i]	の内容を掲載する。 また、定期的に食育だよりを発行し、食に関する啓発を行う。 旬の食材を可能な限り利用し、栄養バランスの良い、薄味を意識した給	0												_					
保 育	/C 安国 公 企	もの良材を可能な限り利用し、未食バラブスの良い、海味を思識した相食を提供する。月1回はいい歯・食育の日の給食を実施し、噛み応えのある給食を提供する。							0								0			
課	保育園給食	年1回、非常時給食として全保育園で自然災害や停電等を想定した献立																		
	 	を作成し、給食提供を実施する。 保育園・幼稚園の3歳以上児に、年2回の発育調査を実施する。肥満度 +15%以上に該当する園児の保護者に対して、成長曲線のリーフレット				0														
	<u>査</u>	を配付し、個別相談を紹介する。 保育園の3歳以上児を対象に、家庭から持参するごはんの量を調査し、	L												\dashv					_
	主食量調査	保護者に調査結果を報告する。結果とともに、年齢に応じた目安量や、 生活習慣について啓発する。				0														
		未就園児保護者を対象に、離乳食開始から完了までの進め方の目安やポイントについて講話を行う。また、保育園給食の様子を紹介しながら、																		
	子育てキラキラ講座	就園に向けた生活リズムの大切さや幼児食のポイントについて講話を行う。																		
	食に関する知識や	各校の「食に関する指導」計画を基に、各教科、特別活動、給食の時間													\Box			\Box		\neg
	食事マナーの習得	などを利用し、朝食の大切さ、栄養バランスの取れた食事の重要性、食 事のマナーなどについて、児童生徒の実態に応じた指導を行う。		O																
学坛	望ましい食生活の	自らの食生活を見直す、日常食の調理を考え、調理活動をするなど、食 生活の実践力につながる指導の充実を図っていく。より効果的な指導と		0	0	0	\circ	0	\circ	0										
教	実践力の育成	なるように栄養教諭と連携した授業づくりを進める。									_				\dashv			\dashv		-
育 課	地域と連携した食文 化の学習	地域の人や生産者との連携・交流をとおして、地域の農産物や郷土料理を題材とした学習の機会を設け、地域の農産物や食文化への関心や理解														0	0			
		を深める。あわせて、生産者に対する感謝の気持ちを持たせる。	H		Н			\dashv			_				\dashv			\dashv		-
	小児生活習慣病予 防検診	肥満度40%以上の小中学生の親子に、将来の生活習慣病予防のため に、小児期からの肥満改善の必要性について個別の保健指導を行う。	0	0	0	0	\circ		0											
	学校給食の提供	主食、主菜、副菜の栄養バランスが整った食事を提供し、児童生徒が、 栄養バランスを考える力や食を選択する力を習得する支援をする。	0						0	0						0	0		0	0
	 学校給食を通した	児童生徒に向け、給食に関係する媒体(給食だより、給食時一口メモの	H		\vdash	\blacksquare		\dashv							\dashv			\dashv		_
+/_	情報発信	放送、給食指導、食に関する学校内掲示物等)で情報発信する。	0	0	0	0	0		0	0						0	0			
教 育	地場産物の給食	学校給食地場産物供給拡大会議を通して、給食で柏崎産食材の積極的な 活用を推進する。														0	0			
総務	活用	農政課協力により、柏崎産のブランド米の給食提供を予定している。																		
課	「ふるさとぱくもぐ ランチ」の実施	市内の小中学校および保育園の給食で、毎月の食育の日(19日頃)に一 品合同献立を実施する。その際に、柏崎産野菜をはじめとした柏崎産食														0	0			\circ
		材を積極的に活用する。 11月19日に市内小中学校で柏崎産食材を使用し、合同献立の給食を実施	\vdash		H		\dashv	+			-				\dashv			\dashv	\prod	\dashv
	「全市一斉地場産 給食デー」の実施	する。その際、生産者等給食食材関係者による希望校への訪問を予定している。「全市一斉地場産給食デー給食だより特別号」で、地場産物や														0	0		0	\circ
加事		その生産者等を紹介する。 肥満、むし歯、糖尿病予防等と関連づけながら、甘味飲料の飲み過ぎ予 なる原理と、小学体、保護者に改発する。	\vdash		Н						\dashv		\dashv		\dashv			\dashv		\dashv
健康	甘味飲料講座	防を保育園児、小学生、保護者に啓発する。 小学生対象に、児童クラブでの出前講座や夏休みに市民プラザでの講座	0			0		0												
康推進課	子里州・芯苷期かり	として開催する。 小・中学校、高校の児童・生徒及び保護者へ出前講座を実施する。市民 の健康状況を伝え、将来の健康づくりや生活習慣病予防・がん予防のた					0	0	0	0					\dashv			\dashv		\dashv
誄	の健康ベノい政祭	の健康认沈を伝え、将来の健康づくりや生活省慎病予防・かん予防のために、望ましい生活習慣(特に朝食摂取)を啓発する。							\cup											

									本方針								本方金		基本方	_
	<u> </u>		1	2	3		<u>(5)</u> T	<u>6</u>		8	9	<u>9</u>	9			① 地	2	3	① 学	2
担当課	取組名(事業名)	内容(今年度の取組予定)	食育への関心	朝食摂取	生 活リズム い	適正体重	エネルギー量自分の	栄養成分表示	野菜1日3食	塩分	鮮度	関味・消費期	産地表示	食料備蓄	推進員 推進員	心元の特産品	郷土料理	展林漁業体験 	学校給食におけ	地元の食材利
健康推進課	特定保健指導	内臓脂肪型肥満の要因となっている生活習慣を改善するための保健指導を行う。 今年度から名称を「健診結果がわかる会」とし、指導されるのではなく、体の中で起こっていることを理解し、実践することを目的とする。		0	0	0	0	0	0	0										
	健診結果がわかる 会(特定健診結果 説明会)	特定健康診査の結果説明や生活習慣に関する保健指導を行う。 今年度から名称を「健診結果がわかる会」とし、指導されるのではな く、体の中で起こっていることを理解し、次年度の特定健診結果が改善 できることを目的とする。		0	0	0	0	0	0	0										
	糖負荷試験健康教育·結果説明会 糖尿病予防教室	糖負荷試験の空き時間に、血糖値を上げないための食事について講話を 行う。結果説明会では、結果に基づいた個別指導を行う。 糖尿病の発症予防・重症化予防に向けた具体的な食生活や運動の生活改 善方法、適正体重等を啓発する。	0		0	0	0		0	0										
	からだスッキリ講座	企業向けの出前講座。肥満をはじめとする生活習慣病予防として、適正 エネルギー量の計算等を取り入れ、食事の適量、バランスなどの講話を 行う。 今年度からは新講座「交代勤務の食事のとり方」を新設した。		0	0	0	0	0	0	0										
	栄養相談会 糖尿病相談会	身体状況や食習慣など、個人の状況に応じた個別相談を行う。 主治医の指示書を基に、保健師と栄養士、理学療法士による保健指導を 個別で行う。食生活や運動の取組目標を設定し、相談会終了3か月後に		0	0	0		0	0	0										
	フレイル予防啓発	検査数値や体重、生活改善の変化を確認する。 介護高齢課と協働し、コツコツ貯筋体操会場に対してフレイル予防、栄養管理の重要性の啓発を実施する。		0		0	0		0	0										
	改善推進員研修会) ソフィアセンターで	 図書館と連携し、6月に食育月間の特設コーナーを設けて来館者に向け	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-		0
	<u>の啓発</u> 広報かしわざき・	て朝食摂取の啓発を行い、簡単レシピや関係図書を紹介する。 広報やホームページで朝食摂取に関する記事を掲載する。		0											\dashv			\dashv	+	
介護高	ホームページ掲載 おいしく食べて 歯ッピ-教室	 高齢期における口腔機能の維持、向上の必要性や低栄養予防に向けた講 話を行う。栄養講話では、フレイルの簡易スクリーニングや多様性食品 得点を行い、食習慣の重要性を啓発する。		0		0			0	0										
齢課	訪問型個別栄養 相談事業	各事業等で栄養改善が必要と認められたものに対し、管理栄養士等の専 門職が訪問し必要な相談や指導を実施する。		0	0	0	0		0	0										
	アラの認知度向上・ 消費拡大に関する 取組	幻の高級魚として注目されるアラを、市内飲食店等と協力して料理として提供することで、地産地消の促進と魚食普及の拡大を図る。 幻の高級魚として注目されるアラの試食会を開催する。											0			0				0
	アラ試食会	試食会においてアラ漁等についてPRし、地場産水産物への関心を高めると共に、地産地消の促進と魚食普及の拡大を図る。 漁業者が魚介類の直売や浜汁の無料配布等を行うことで、地場産水産物											0			0		-		0
	な祭り 	の魅力を発信し、地産地消の促進と魚食普及の拡大を図る。また、漁船 見学や海洋生物のタッチプールなど体験型のイベントを実施することで 水産業への関心を高める。 小中学生とその保護者を対象に開催する。さまざまな魚介類を見て、調									0		0			0		0		0
	夏休み親子おさかな料理教室 出張おさかな料理	理して、食べることで魚食に関する興味を高め、若年層への魚食普及を行う。 小中学校からの要請を受けて開催する。さまざまな魚介類を見て、調理									0		0			0		0		0
	教室 やおやまつり・ おさかなまつり	して、食べることで魚食に関する興味を高め、若年層への魚食普及を行う。 農産物を扱う柏崎青果市場、水産物を扱う柏崎魚市場を会場に開催する。卸売業者と消費者が顔を合わせて売買することで農水産物への関心	H								0		0		\dashv	0		0		0 _ 0
農林水産課	さけつかみ捕り体験	を高め、消費拡大を図る。 谷根川に遡上したサケを活用し、サケのつかみ捕りイベントを行う。谷 根川のサケを来場者にPRすることで、地産地消の促進と魚食普及の拡大 を図る。									0		0			0		0		0
	学校給食における 地場産魚介類の提 供	谷根川に遡上するサケを使用したサケミンチや柏崎近海で漁獲される水 産物を学校給食へ提供し、地産地消の促進と魚食普及の拡大を図る。											0			0			0	
	食の地産地消フェア	8月に食の地産地消推進店が地場産食材を使用した期間限定のメニューを提供するイベントを開催することで、地場産食材の普及啓発を図る。今年度は柏崎市が産地拡大を図っている「かぼちゃ」を重点的にPRする。											0			0	0			0
	食の地産地消マッチング会	市内事業者と生産者のマッチング会を開催、市内事業者において地元食 材の利用拡大を図る。														0				0
	秋の収穫祭	第8回秋の収穫祭を10月26日(日)に開催し、地場産食材や加工品を販売することで、食の地産地消を市民に広く啓発する。 学校給食について、関係機関が3か月に一度の頻度で連絡会議を開催 し、野菜の生育状況などの情報交換を行うことで、地場産食材の供給量											0			0				
	学校給食地場農産 物供給拡大連絡会	の増加を図る。 今年度は市内小・中学校給食で柏崎の特色ある米(葉月みのり、新之助、米山プリンセス等)を提供することで、地産地消や農業への関心を 高めるとともに、通常時の米についても新潟県特別栽培米を使用して、														0			0	
	辰未派與又扳爭未	より安心安全な米を使用する。 市の補助事業の活用により、園芸作物の生産拡大や六次産業化の商品開発・販路拡大を支援する。 生産現場で、収穫、出荷、加工作業を体験するイベントを開催すること																		0
	農業体験食を通じた体験地産地消に関する	で、市民の農業への関心や地元農林水産物への理解を深める。市民や市内団体が行っている農業体験をホームページに掲載を可能とすることで、市民が農業に触れる機会を増やす。 「柏崎市の農業ってどんなことをしているの?~お米や野菜のおはなし														0		0		0
	ふれあい講座の実 施	〜」を実施し、要望のあった市民、団体に対し、柏崎市の農業に触れながら、食の地産地消の意識向上 を図る。	0												\dashv	0			(C
		第4次地産地消推進計画の策定や意識調査のため、市民の地産地消食材の購入等に関するアンケートを実施する。											0							<u> </u>